平成 18年度 伊丹市行政評価 ~事務事業評価編~

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりブラン」に位置付けが ■ あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。

事務事業コード	130	202		H19年度以降に事業開 内容は、評価表作成時	もながずたされている事業。 点(H18年8月)のもので	あり、その後	め状況変化など	こより、公表8	寺点において実	ミ施時期や事業費	等が変更になっ	ている場合が	あります。
事務事業名	福祉	のまち	づくり目	民間施設改修補助事業		健康福祉 障害福祉							
事業内容	障害者や高齢者等の利用に配慮した整備を要する民間施設のうち資金的制約等により改修が困難な中小企業等の施設改修費用の一部を助成する。						事業開始(予 平成12: 事業終了(予	年度	Ī	評価結果	上位施策に	C 	献
		視点 支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現									度はやや個率的・効果	らく、より?	効
この事業の 上位施策	これから5 年間のまち	項	項目 きめ細かな地域福祉の推進								あり方につ	いて検討	が
	づくりプラン	施策 福祉のまちづくりの推進									必要。		
	⇒ 「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18~ 取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。					22年度)に計画	正的に 上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する 評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等 を加味して総合的に評価したものです。						
事業の目的	障害者や高齢者をはじめ、すべての市民が日常的に利用する公共的施設・生活利便施設やその周辺の道路などを安全で快適に利用し移動できるよう、福祉のまちづくりの核となる地区を整備するとともに、市全域において官・民建築物や道路・公園など施設のバリアフリー化を行う。						予算費 (複数の費目に 場合は、主な費 しています	またがる	(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 社会福祉総務費				
	平成17年度(決算)					平成18年度(予算)							
			平月		ı				平原	戊18年度(予	算)		
			平月	成17年度(決算)	財源内訳				平月	成18年度 (予	·算) 財源[为訳	
			平月	或17年度(決算) 国·県補助金	財源内訳				平月	成18年度(予 国·県補助	財源に	为訳	375千円
	事業費		平 点		財源内訳	_ _ _	事業費		平 原 750千円	国・県補助	財源に	内訳	375千円
	事業費		平 _月 —	国・県補助金 市 債 その他(使用料	財源内訳 等 : : :		事業費			国・県補印市 その他(使)	財源 (力金等 債 用料等)	内訳	375千円 - -
事業費等の概算	事業費		平 _月 —	国・県補助金市 債	財源内訳 等 : : :	- - -	事業費			国・県補助市	財源 (力金等 債 用料等)	勺訳	375千円 - - 375千円
事業費等の概算	事業費	О.	平 原 一 22人	国・県補助金 市 債 その他(使用料 一般財源(市税 ⇒年間を通じてこの より算出しています	財源内訳 等 : : :	なります。	事業費投入人員	0.2		国・県補印 市 その他(使, 一般財源(*) ⇒年間を通じて より第出してい	財源 (力金等 債 用料等)	入される人的 表すと次の様	- 375千円 資源を概算に になります。
事業費等の概算			_	国・県補助金 市 債 その他(使用料 一般財源(市税 ⇒年間を通じてこの より算出しています =担当課職員数×	財源内訳 等 4等) 2等) 事業に投入される人的資源 た。算式で表すと次の様に	なります。 全仕事量)			750千円	国・県補印 市 その他(使) 一般財源(* →年間を通じて より算出してい =担当課職員	財源に 対金等 債 用料等) 市税等)	入される人的う 長すと次の様 の仕事量・誰	- - 375千円 資源を概算に になります。 果の全仕事量)
事業費等の概算	投入人員		- 22人	国・県補助金 市 債 その他(使用料 一般財源(市税 ⇒年間を通じてこの より算出しています =担当課職員数× ⇒年間1人あたり平:	財源内訳 等 は等) 事業に投入される人的資流で、算式で表すと次の様にが、 (当該事業の仕事量・課の 均人件費に投入人員をから	なります。 全仕事量)	投入人員		750千円	国・県補印 市 その他(使 一般財源(→年間を通じて より算出してい =担当課職員 →年間1人あた たものです。	財源の 情 情 用料等) 市税等) この事業に投います。第式でき 数×(当該事業	入される人的う 長すと次の様 の仕事量・誰	- 375千円 資源を概算に になります。 果の全仕事量)
	投入人員	1,8	- 22人	国・県補助金 市 債 その他(使用料 一般財源(市税 ⇒年間を通じてこの より算出しています =担当課職員数× ⇒年間1人あたり平: たものです。	財源内訳 等 は等) 事業に投入される人的資流で、算式で表すと次の様にが、 (当該事業の仕事量・課の 均人件費に投入人員をから	なります。 全仕事量)	投入人員		750千円	国・県補印 市 その他(使 一般財源(→年間を通じて より算出してい =担当課職員 →年間1人あた たものです。	財源に 物金等 債 用料等) 市税等) にの事業に投います。算式でき数×(当該事業 り平均人件費に	入される人的? 表すと次の様 の仕事量÷部 こ投入人員を?	- 375千円 資源を概算に になります。 果の全仕事量)
事業費等の概算 活動指標	投入人員人件費経費合計	1,8	22人 85千円 助成件数(件	国・県補助金 市 債 その他(使用料 一般財源(市税 ⇒年間を通じてこの より算出しています =担当課職員数× ⇒年間1人あたり平: たものです。	財源内訳 等 は等) 事業に投入される人的資流で、算式で表すと次の様にが、 (当該事業の仕事量・課の 均人件費に投入人員をから	なります。 全仕事量)	投入人員		750千円 22人 5千円	国・県補印市 その他(使) 一般財源(**) →年間を通じている。 - 担当課職員 →年間1人あたたものです。 2,63	財源に 情 用料等) 市税等) にの事業に投 います。算式でき 数×(当該事業 り平均人件費に	入される人的? 表すと次の様 の仕事量÷部 こ投入人員を?	ー 一 375千円 資源を概算に になります。 果の全仕事量) かけて積算し